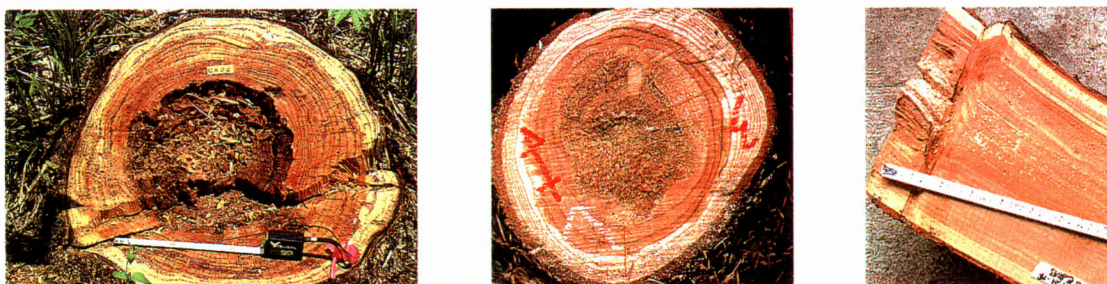


カラマツ根株心腐病の実態と被害回避法の開発

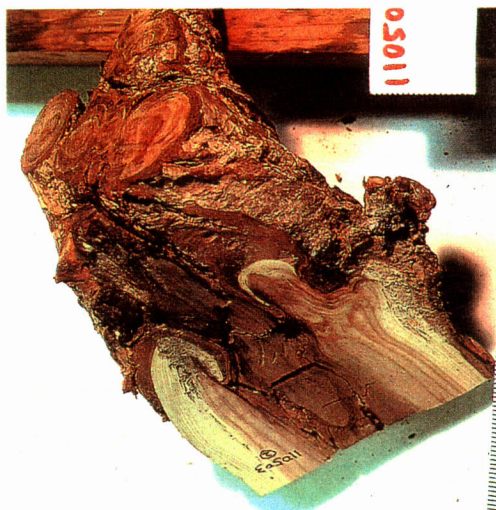
カラマツには根株部から腐朽する根株心腐病が知られており、その被害防除技術が求められています。そこで、被害の推移を予測し、適正な伐期を得るため、被害発生機構や被害の進行状況について研究しております。



被害木は上の写真のように様々な形態で腐朽が進みます。これは病原菌や病原菌の侵入経路が違うためです。

病原菌の侵入経路は

根か？



酸欠による根の枯死

根株か？



伐倒および搬出時に生じる傷

根からの侵入は植栽環境の影響が強いようです。

多発地形：斜面の中腹下部で緩傾斜地や沢沿い。

多発土壌条件：土壌中に固結層や粘土層がある。

長雨や融雪時に長期にわたり滞水する林分は、被害が多発することが考えられ、間伐時に伐根の調査を行って、施業計画を見直す必要があります。

根株からの侵入は材の搬出路周辺に多く、人為的要因が強いです。

被害木には大きな傷があり、適宜伐倒すれば被害も減少します。